

# ふくよか

地域で支える医療と介護

2026 | 春号 ■長崎県病院企業団本部  
■令和8年4月発行



魚津ヶ崎の菜の花(五島市)

## CONTENTS

- P1 ——— 企業長より
- P2 ——— 上廣倫理財団へ感謝状贈呈
- P3 ——— 特集1 | 令和8年度当初予算の概要
- P4 ——— 旅費制度の改正／特定事業主行動計画／懲戒処分の指針・倫理確保の指針
- P5 ——— 特集2 | 看護管理監より／オンラインながさき暮らし相談会
- P6 ——— 退職者挨拶／心臓カテーテル導入
- P7 ——— BREAK TIME

### 「ふくよか」の由来

医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けて欲しいとの願いが込められています。

# サバンナの静寂が教えてくれたこと 医療とは「与えること」

長崎県病院企業団企業長 八橋 弘

前任の長崎医療センターは、WHO肝炎協力センターとして1991年から2006年まで、外務省およびJICAの依頼によりケニアでのウイルス肝炎対策に携わってきた。私自身も長期専門家として派遣を打診されたことがあったが、国内の職務を一年間離れることができず、代わりに短期専門家として計7回、1回につき2〜4週間ほどナイロビに滞在し、現地の対策に従事した。

滞在中には、金沢大学の医学生たちも国際医療協力の実習として参加していた。週末の休日には、ナイロビ市内から小型機でサバンナへと出かけた。地平線が果てしなく続く広大な赤い台地では、ゾウ、ライオン、キリン、シマウマといった動物たちが自由に生きている。私たちは

鉄格子で囲まれたジープの中から彼らの営みを見守った。そこには弱肉強食という自然の摂理があり、生き物が生まれ、そして死んでいく。その営みの厳しさは、数時間滞在するだけでも胸に迫ってきた。

サバンナで生まれた知恵とは、例えば子ゾウを外敵から守るように囲んで進むゾウの群れであり、オス一頭と多数のメスからなるインパラの集団である。これらは何万年もの時間をかけて築かれた彼らなりの秩序なのだろう。ケニアの人々にも、同じような知恵や支え合いの精神が息づいているように感じた。

ケニアでは一夫多妻制が認められている。当時の平均寿命は五十歳未満であり、男性が主な働き手である社会において、それは女性を守る側面も持つ制度なのだ

と私は理解した。また、エイズ孤児やHIVに感染した母親から生まれた子どもたちが、たとえ感染を免れても数年で孤児となることは珍しくなかった。しかし、人々は親戚や仲間が協力し合い、孤児を見捨てることなく大家族として支えようとした。かつての日本もそうであったのだろう。しかし今は、グローバル化の名のもとに競争が当然となり、自分を優先する社会になってしまったように思えてならない。

サバンナの夜、テントの中で医学生たちに「将来は何を専攻したいか」と尋ねてみた。一人は国際医療協力の分野に進みたいと答えた。一方、別の学生は「患者が亡くなることなく、夜に呼び出されることもなく、開業して豊かな生活を送れる診療科は何ですか」と問い返した。私は静かな寂しさを覚えながら、「それは、少なくとも肝臓内科ではないね」とだけ返した。彼は優秀に見えたが、彼の求める医師像は、もしかすると今の学生の平均的な考え方なのかもしれない。

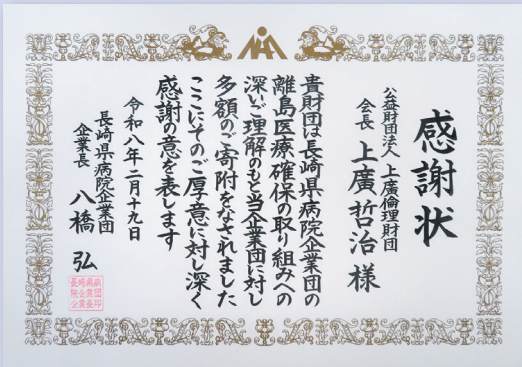
そのとき、曾野綾子氏が新聞に寄せたコラム「与えることが大人への道」の一節が思い浮かんだ。「自分がしたいことだけをして、人としてすべきことをしようとしたくないのは、幼児性の表れである。誰もが本当はしたいことをしていたいのだが、それだけではだめだ。すべきことをしなければと思う。そして、したくないことをした時、初めて人は自分が必要とされている存在だと感じ、この世に生きる意義を見つけ、不思議と心が満たされる。(中略)食料や酸素、日照権など、あらゆる物質は『こちらが取れば相手の取り分は減る』が原則である。しかし、『愛』だけはこの法則を受けない。与えても減らず、双方が満たされるのだ。」このコラム記事を、

私は今も机の引き出しに大切にしまい、仕事で忙しい、苦悩するたびに読み返している。これまで看護学校の卒業式などでも、この言葉を紹介してきた。

サバンナの夜に感じた静寂の中で、私はひとつの答えに辿り着いた。医療とは、奪い合う営みではない。医療とは「与えること」である。そして不思議なことに、与え続ける者こそが、最後に満たされるのではないだろうか。

## 上廣倫理財団へ感謝状を贈呈

2月に八橋企業長が上廣倫理財団(東京)へ訪問させていただき、離島医療へのご理解に深く感謝し、多大なるご寄付を賜りましたことにつきまして感謝状を贈呈しお礼を申し上げます。公益財団法人 上廣倫理財団におかれては、病院企業団の離島医療確保の取組に対して深いご理解をいただくとともに助成事業により、奈留医療センター、富江病院、有川医療センター、奈良尾医療センター、対馬病院、上対馬病院の3病院3診療所に医療機器購入のための支援を賜りました。



昨年度に引き続き、大変ありがたいご支援に心より感謝申し上げます、病院企業団として地域医療の発展により一層尽力してまいります。

### 公益財団法人 上廣倫理財団の取組

上廣倫理財団におかれては、これまで国際的視野のもと、倫理に関する学術研究、教育活動や社会活動の振興を通じて社会の発展に寄与することを目的に活動されています。海外の事業では、オックスフォード大学に研究所を寄付し、医療倫理の研究を促進し、国内では京都大学iPS細胞研究所に、iPS細胞における倫理的課題を研究する部門を寄付されています。そのような中、医療の振興には、深刻な課題を抱える医療現場に目を向けなければならないとの考えから、本県を含む離島・へき地医療が抱える、アクセスや医療の黒字化が難しい等の課題に着目され、寄付による医療機器等のサポートを行う事業を立ち上げられました。



# ～職員の皆様へのお知らせ～

## ～旅費制度が大きく変わりました～

本年4月から国家公務員の旅費法改正などを踏まえた改正が行われ、これまで定額で支給していた旅費については、実費支給へ変更となりました。

主な改正内容は、以下の3項目で支給額などの改正が行われましたので、職員の皆さんは申請手続き等にご留意願います。

### 1 旅行諸費

旅行手段	現行 (1日につき)	改正後
県内旅行 公共交通機関利用	600円	廃止 ※廃止に伴い、旅行行程に応じた実費額を支給
公共交通機関利用しない	300円	
県外旅行 公共交通機関利用	1,100円	
公共交通機関利用しない	600円	

### 2 宿泊料

①宿泊費 定額支給から、宿泊する都道府県に応じて宿泊費支給上限額を設定し、上限の範囲内で宿泊する場合、宿泊にかかる実費を支給

地域区分	現行	主な改正後の上限
地域区分 甲	12,000円	東京19,000円、大阪13,000円、福岡18,000円
地域区分 乙	10,800円	長崎11,000円

※甲地方：さいたま市、千葉市、東京都特別区、横浜市、川崎市、相模原市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市  
乙地方：上記以外の地域

②宿泊手当(食事代相当額)上記宿泊費とは別に1夜当たり、「素泊まり2,400円」、「朝又は夕食有(1食付)1,600円」、「朝夕食有(2食付)800円」の定額を支給

### 3 赴任旅費・転居費(これまでの移転料から名称変更)

区分	現行		改正後
	6級以上	5級以下	
鉄道15km未満	58,500円	53,500円	実費を支給
鉄道15km以上30km未満	87,750円	80,250円	
鉄道30km以上50km未満	117,000円	107,000円	
鉄道50km以上100km未満	134,000円	123,000円	
鉄道100km以上300km未満	165,000円	152,000円	
鉄道300km以上500km未満	204,000円	187,000円	
鉄道500km以上1,000km未満	270,000円	248,000円	
鉄道1,000km以上1,500km未満	284,000円	261,000円	
鉄道1,500km以上2,000km未満	304,000円	279,000円	
鉄道2,000km以上	353,000円	324,000円	

## ～新しい特定事業主行動計画を策定しました～

特定事業主行動計画とは、女性活躍推進法・次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事や子育ての両立を支援する環境づくりなどを目的として、特定事業主である国や地方公共団体、民間事業主に対してその策定が義務付けられているものです。

企業団においては、平成21年度から策定しており、前回の令和3年度から5年間としていた同行動計画を更新し、今回、令和8年4月から5年間の新たな行動計画を策定しました。

具体的な内容としては、従来の2つの大項目「1. 家庭と仕事の両立支援(ワークライフバランスの推進)」、「2. 子育て活動支援のための環境整備」はそのままとし、主な変更点は次のとおりです。

全ての職場において、育児・介護・不妊治療などを行う職員が休暇を気兼ねなく取得できる雰囲気づくりはもとより、職員がお互いのことを理解しあい、応援できる職場にしていきたいです。

①大項目1内の「効率的な業務遂行に向けた管理職の意識改革」に職員一人当たりの平均時間外勤務時間、「休暇を取得しやすい環境づくり」に年次休暇取得日数、「育児等に関する男性職員への啓発」に男性職員の育児休業取得率のそれぞれについて数値目標を新たに設定しました。

②また、既に作成している、子育て支援ハンドブック、超勤ハンドブック、介護プランニングシートなどを活用した該当職員への面談などを通じて、実効性のある取組を進めていくこととしています。

#### ■新たな数値目標

項目	新計画目標
職員一人当たり平均時間外勤務時間	前年度を下回る時間数
年次休業取得日数	10日以上
男性職員の育児休業取得率(1週間以上)	100%

詳しくは [病院企業団特定事業主計画](#)

## ～懲戒処分の指針、倫理確保についての指針～

令和7年4月から、新たに「懲戒処分の標準的な量定を明確にするための懲戒処分指針」、「適切な利害関係者との対応やコンプライアンス推進強化を図るための倫理規定指針」の2つの指針を施行しています。

これからも、企業団職員として、綱紀保持や倫理確保を図り、住民の皆様の信頼に応えていきましょう。

### 1 長崎県病院企業団職員の懲戒処分の指針

懲戒処分の標準的な量定を明らかにすることで、処分の透明性及び公平性を確保し、服務規律の維持と不祥事の未然防止の徹底を図るとともに、企業団に対する信頼を確保するため、判断基準等を定めています。

### 2 長崎県病院企業団職員の倫理確保についての指針

職員が、職務上関係のある業者、団体等(利害関係者)からの賤別や贈答品の受領、利害関係者との会食など、職務遂行の公正さに対する住民の皆様の疑念や不信を招くことのないよう行動し、日頃から業者等との適切なコミュニケーションができるよう、倫理確保に関する判断基準等を定めています。

## ZOOM UP!

# 令和8年度当初予算の概要

令和8年3月定例会議会において、令和8年度病院事業会計(当初予算)が可決・成立しました。予算の対前年度比較は、医業収益の867百万円の減、医業外収益の116百万円の減などにより総収益(A)は982百万円の減少、医業費用の7百万円の減などにより総費用(B)は17百万円の減少となり、経常損益(C)は964百万円減の△2,094百万円、純損益(D)は965百万円減の△2,133百万円となります。

令和7年度に続き赤字予算ですが、医療の質の維持・向上、島内で治療可能な患者の島内での受診を促進する「郷診郷創」の取組などを進めるとともに、今後も職員一丸となってさらなる経営改善に取り組んでまいります。

(単位:百万円、%)

区分	R7年度 当初予算①	R8年度 当初予算②	増減	
			増減額 ②-①:③	伸び率 ③/①
総収益(A)	33,267	32,285	▲982	▲3.0
経常収益	33,222	32,239	▲983	▲3.0
医業収益	27,189	26,322	▲867	▲3.2
うち入院収益	16,961	16,258	▲703	▲4.1
うち外来収益	8,305	7,947	▲358	▲4.3
うちその他医業	1,320	1,331	11	0.8
医業外収益	6,033	5,917	▲116	▲1.9
うち繰入金	4,007	4,025	18	0.4
特別利益	45	46	1	2.2
総費用(B)	34,435	34,418	▲17	▲0.0
経常費用	34,352	34,333	▲19	▲0.1
医業費用	33,918	33,911	▲7	▲0.0
うち給与費	18,354	18,528	174	0.9
うち材料費	6,462	6,164	▲298	▲4.6
うち経費	6,221	6,270	49	0.8
うち減価償却費	2,619	2,619	0	0.0
医業外費用	434	422	▲12	▲2.8
特別損失	82	84	2	2.7
予備費	1	1	▲0	▲10.0
経常損益(C)	▲1,130	▲2,094	▲964	
当年度純損益(D)	▲1,168	▲2,133	▲965	

※注1) 医業外収益・費用は、訪問看護ステーション事業の収益・費用を含む。

※注2) 百万円未満の端数処理の関係で一致しない箇所がある。

# 長い間ありがとうございました

退職された皆様におかれては、これまでの企業団への多大なご貢献に感謝申し上げますとともに、今後ますますのご健勝及びご多幸をお祈りしております。

ご退職される壱岐病院の向原院長からご挨拶をいただきました。

壱岐病院へ勤務して13年たちました。長いようで、あっという間でした。

私は、離島医療修学資金を受け、医師になりました。離島勤務が義務でしたが、通算21年間離島でお世話になりました。少しは、お返しできたかなと思います。壱岐病院では、医師確保は言うに及ばず、救急医療の充実、専門医療の拡充、人材育成を中心に活動してきました。常勤医師は7名から18名へ増え、多くの専門外来を設置できました。中でも、医療スタッフの皆様への向上心に支えられて、多くの認定や、専門技能等の資格獲得へまい進することができました。自律した組織が、できつつあります。これから、安心安全な医療の提供、信頼される医療へとさらに高みを目指して頑張ってください。

実は、この原稿は病室で書いています。変形性股関節症の手術を当院で受けました。患者になってはじめて体験し、病院食や毎日の掃除等、病院を下支えしていただく方々への感謝しかありません。そして、何よりも安心して療養できる医療スタッフの存在です。

これからも壱岐病院がさらに発展することを楽しみにしています。



壱岐病院 院長 向原 茂明

## ～壱岐病院に心臓カテーテルが導入されます～

現在、心臓のカテーテル検査や治療は、県内離島地域では壱岐のみ実施されていません。

令和8年度当初予算で、壱岐病院の救急医療を充実させるため、血管連続撮影装置(アンギオ)の導入や、専用部屋として『心臓カテーテル室』を整備する費用を計上しています。完成するのは令和9年3月頃の予定で、これにより年間で約100件のカテーテル検査、30件程度の血管内治療(経皮的冠動脈形成術、ステント留置術など)が可能となり、これまでのように壱岐島外の高次医療機関へ搬送しなくても良くなり、夜間や天候不良などに左右されない検査や治療が可能となりますので、医療機能も向上されます。

昨年度末をもって本部から県へ異動、退職された方々です。大変お世話になりました。



企画経営班課長補佐 篠原 隆  
主任主事 磯本 雪花  
総務人事班 主事 古庄 はな



## ZOOM UP!

～企業団本部看護管理監に、  
企業団病院の看護職員の育成について寄稿をいただきました。～

### 看護職の人材育成に思う ～「己を思い 他を思う」～

病院企業団本部 看護管理監 頭島利江子

「己を思い 他を思う」この言葉は、高校卒業の時に、恩師からいただいた言葉です。残念ながら、この意味を直接恩師から聞くことはできなかった。改めて調べてみたところ、これは伝教大使最澄の言葉「忘己利他」に由来し、他者を幸せにすることを重視していると説明があった。当時、看護師を目指す私への「贈る言葉」であろうと受け止めたが、半分納得し、半分は疑問が残り、すっかりしなかったのを覚えています。

ただ、この言葉の意味を、その時々のおかれた立場で考える自分がいました。また、看護師として経験を積み、年齢を重ねていく中で「己を思い 他を思う」の意味は変わってきたのです。

数年前から、看護管理者として、「人材育成の課題と問題解決に向けたアプローチ」について考えることが多くありました。その内容は、

○人材育成の課題として、

- ・人手不足により、日々の業務に追われ、余裕をもって指導できない「慢性的な人手不足」
- ・多様な働き方の推進もあり夜勤者確保が困難となっている「夜勤の負担増」
- ・加えて最近「次世代リーダーの不在」「指導方法と世代間ギャップ」

○課題解決に向けたアプローチとしては、

- ・チーム全体で育成に関わる環境を整備し、指導者へのメンタルサポートの実施
- ・時間と場所に縛られない知識の習得(オンライン学習の導入など)
- ・質問しやすく、失敗を振り返れる職場文化の醸成(心理的安全性の確保)
- ・計画的な次世代リーダーの育成(中堅看護職員への支援)
- ・主体性を引き出すフィードバック(コーチング型)への転換

といったものです。

まだまだ、詳細に現状把握と問題解決方法を考える必要があり、また、何事にもバランスが重要で、医療技術の進歩、高齢化などの変化に伴い看護職の人材育成の方法も変化していると考えています。

他者を思いやることで良好な人間関係を保つことができ、人材育成へもつながると思うが、それだけでバランスがとれるかどうか悩ましいです。自分のセルフケアを十分に行うことで、余裕が生まれ、自分自身が安定していることで、他者への思いやりとやさしさを与えられるのではないかと。変わる世の中ですが、変わらない「思いやり」で人材育成を考えていきたいと思っています。

個人の成長と、組織の永続的な発展のために、看護現場における人材育成への取り組みを確かなものにしていきたいと考えています。

改めて、恩師からいただいた「己を思い 他を思う」の意味を、新たに理解できた気がいたします。



## オンラインながさき暮らし相談会へ参加

2026年1月末に長崎県が主催する「オンラインながさき暮らし相談会」へ参加しました。長崎への移住やUターンを検討されている方などを対象とした本相談は、毎年、ホームページやメールだけでは伝えきれない当企業団の情報を、直接相談者へ伝えることができる貴重な機会となっております。

今回は相談会出席者より、病院企業団の福利厚生や職員手当制度、例年の採用試験の日程などの質問を受け、移住後の勤務を検討されている方の不安や疑問に寄り添い、職場や子育て環境、地域の魅力などについて、できる限り具体的にお伝えしました。

これからも機会を捉えて、企業団への就職を考えておられる、お一人ひとりのご希望や状況に合わせた情報提供を心がけ、企業団で働くことを前向きに検討いただけるよう丁寧な対応に努めたいと思います。

## 長崎居留地ー大いなる遺産

今年1月末に長崎市大浦町にある「旧長崎英国領事館」が11年間の保存修理工事を経て、リニューアルオープンしました。この建物は1908年に現在のレンガ造りの領事館が建てられてから100年以上が経過し、私も工事前に何度か訪れましたが、レンガの目地材が白い粉を吹いてボロボロと崩れるなど老朽化が進み、また、この地域は埋め立て地で軟弱地盤※であるため、多くの時間と労力が費やされ、修理や耐震補強工事が行われました。現在1階は領事館展示室、2階は長崎を題材に多くの絵画を残した野口彌太郎記念美術館になっています。

※工事前の建物の基礎地下には、約3mの松杭が1470本打ち込まれていたそうです。

1858年江戸幕府は、イギリスなど5カ国と修好通商条約を結び、条約で横浜や函館とともに長崎に外国人専用の居留地を設けることが合意されました。東山手・南山手周辺地区に居留地が造成され、概ね平地には商社やホテル、工場などが、山手には個人住宅がそれぞれ建てられました。これらの地域は、長崎を代表する異国情緒あふれる街として観光客に人気のスポットであり、最近はお洒落なカフェが点在しています。表題は平成2年に長崎市教育委員会が刊行した調査報告書の名称で、この調査に基づき後に国の文化財として東山手・南山手伝統的建造物群保存地区に選定されています。今回は保存地区を街歩きしてみます。

世界遺産の旧グラバー住宅があるグラバー園、旧オルト住宅、旧リンガー住宅の3つの重要文化財以外は移築されたものです。旧グラバー住宅は日本で一番古い洋風木造建築で、熊本・天草出身の大工 小山秀之進が建てたもの。この方は放送作家である小山薫堂氏の高祖父にあたります。

グラバー園を起点に南山手一帯を散策すると、レトロな建物や石畳の敷



旧長崎英国領事館

## BREAK TIME



かれた街並みとなり、その一角には100年以上前にフランス人が設計した旧マリア園があります。現在改修され2024年からホテルとなっており、かつての美しいステンドグラスの聖堂はレストランとして活用されているようです。近くのドンドン坂(ドンドンとは水の流れる音)からは、目の前に長崎の港が広がって見えます。南山手の丘から海側に降りると松が枝地区となり、旧香港上海銀行長崎支店記念館(下田菊太郎が設計した現存する唯一の遺構)が目に入ります。

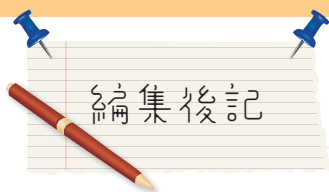
大浦川をはさんで北側の埋立地は大浦バンド(海岸通り)と呼ばれ、多くの商社や領事館などが林立したオフィス街でした。この東側の崖上は宣教師の丘と呼ばれるくらい宣教師の住宅が密集し、宣教師は日本人の教育に熱心で、今も残る活水学院、海星学園などを創設しました。また、東山手十二番館やこの丘に通じるオランダ坂があり、敷き詰められた石畳は熊本の天草石という砂岩です。

明治初期に約10万坪あった長崎の外国人居留地は、イギリス人が日本で初めて英字新聞(ザ・ナガサキ・ SHIPPING・リスト・アンド・アドバイザー)を創刊したり、日本初の外国人向けホテル(コマースル・ハウス)などではビリヤードやボウリングに興じる

外国人が数多くいました。まさに長崎の中の異国そのものだったのです。

最後に恒例の心に残ったひと言。北海道の赤平市という小さな町でロケットを飛ばしている植松電機の社長である植松努氏の言葉「思うは招く、夢があればなんでもできる」。社長の強い思いが同じ夢を持つ仲間、チャンスを引き寄せました。今年度も頑張ってスタートしましょう。

(文:副企業長 馬場秀喜)



この度、人事異動で3名の職員が本部を去ることになりました。お世話になった方々とのお別れは寂しくありますが、皆様の今後一層のご活躍をお祈りしております。また、4月より新たに企業団職員へ採用となられた皆様、どうぞよろしくお祈りいたします!(担当R.T)

表紙写真提供:(一社)長崎県観光連盟

令和8年4月発行  
編集・発行/長崎県病院企業団本部  
〒850-0035 長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル7階  
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759  
[E-mail] honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp  
[URL] https://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp

◎上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想を どんどんお寄せください!

地域で支える医療と介護



長崎県病院企業団

検索

長崎県病院企業団  
ホームページ

